

第32回全日本ユースけん玉選手権大会  
第37回全日本学生けん玉選手権大会  
第24回全日本けん玉学生・社会人対抗戦  
ハヤブサ杯・第26回全日本空中技けん玉選手権大会

**主催**：日本学生けん玉連盟  
**後援**：公益社団法人日本けん玉協会、一般財団法人ハヤブサ財団  
**日時**：2024年3月23日（土） 10時受付開始（9時30分開場）  
**場所**：大阪市総合生涯学習センター 第2研修室  
**参加費**：学 生：1大会出場ごとに500円  
（中学生、高校生、短大、大学生、専門学校・大学院）  
社会人：1大会1000円  
**申込み**：当日申込み

## 第32回全日本ユースけん玉選手権大会

### 参加資格

・2023年4月2日現在で、中学生以上で30歳未満であること。

### 試合形式

- ・予選
  - ①中学生、高校生、大学生（短大、専門学校、大学院生含む）、社会人の部別表1の選技10種目を各種3回ずつ行う（30点満点）。
  - ②各部門の最高得点の者が決勝トーナメントへ進出する。但し、部門1位タイが2名以上のときは複数名の時は、別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。どちらかが成功し、もう一方が失敗し進出者が決定するまで実施する。
  - ③各部門の1位を除いた残りの選手のうち予選得点の高い選手から、②にて進出した人数と合わせて10名までになるまでが決勝トーナメント進出者とする。
  - ④10位タイが2名以上のときは複数名の時は、別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。

### ・決勝トーナメント

#### 1・2回戦

別表1の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の選手を勝者とする。ただし、同点の場合は、別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる別表1の第1選技から順番にサドンデスにて勝者を決定する。なお、条件はその試合限り、有効。

#### 準決勝戦・決勝戦

別表2の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の選手を勝者とする。ただし、同点の場合は、別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる別表2の第1選技から順番にサドンデスにて勝者を決定する。

# 第37回全日本学生けん玉選手権大会

## 参加資格

- ・大会当日現在、大学、短大、専門学校、大学院に籍をおく者。

## 試合形式

- ・予選  
別表1の選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、成功回数上位8名が決勝トーナメントに進出する。  
なお、8位タイが複数名の場合は別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。どちらかが成功し、もう一方が失敗し進出者が決定するまで実施する。
- ・決勝トーナメント
  - ① 6種目、3本先取勝ちとする。
  - ② 1、2本目は提示種目戦とする。（詳しくは、別記「種目提示戦」を参照。）
  - ③ 3本目以降は、1回戦は別表1、準決勝戦及び決勝戦は別表2の選技を抽選する。  
なお、各選技は最大3回までとし、相互に実施し片方のみが成功すれば1本先取とする。
  - ④ 2対2となり次第、あるいは6本終了時点1対1の場合は、1回戦は別表1、準決勝戦及び決勝戦は別表2の選技に別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる、サドンデスにて勝者を決定する。なお、条件はその試合限り、有効とする。
- ・団体戦  
同一の学校にて、2名以上参加した場合、予選得点高い3名の合計得点で競う団体戦を実施する。ただし、2名の場合は2名の合計とする。

# 第24回全日本けん玉学生・社会人対抗戦

## 参加資格

- ・中学生以上であること。

## 試合形式

- ・予選  
別表1の選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、学生の部（大学生以下）と社会人の部それぞれの部門で成功回数上位8名までの選手が部門別決勝トーナメントに進出する。  
なお、8位タイが複数名の場合は別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。どちらかが成功し、もう一方が失敗し進出者が決定するまで実施する。
- ・部門別決勝トーナメント  
別表1の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の選手を勝者とする。ただし、同点の場合は、別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる別表1の第1選技から順番にサドンデスにて勝者を決定する。なお、条件はその試合限り、有効。  
また、部門別優勝者、準優勝者は対抗戦決勝トーナメントへ進出する。  
（各部門2名・合計4名）。
- ・対抗戦決勝トーナメント  
別表2の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の選手を勝者とする。ただし、同点の場合は、別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる別表2の第1選技から順番にサドンデスにて勝者を決定する。

# ハヤブサ杯・第26回全日本空中技けん玉選手権大会

## 参加資格

- ・中学生以上であること。
- ・大会前日（2024年3月22日）現在、日本けん玉協会認定段位が初段以上であること。

## 試合形式

- ・予選  
別表4選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、成功回数上位16名（同点の場合1回目の成功数が多い方が上位）とし、決勝トーナメントに進出する。  
なお、16位タイが複数名の際は別表4の第1選技から順番にサドンデスを実施する。どちらかが成功し、もう一方が失敗し進出者が決定するまで実施する。
- ・決勝トーナメント
  - ① 4種目、3本先取勝ちとする。
  - ② 全て種目提示戦（詳しくは、別記「種目提示戦」を参照）にて実施する。
  - ③ 2対2の場合は、別表4の選技に別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる、サドンデスにて勝者を決定する。
  - ④ 後攻側が1種目しか種目提示ができないまま敗戦した場合に限り、希望によりもう1つ種目提示を行うことができる。

## 種目提示戦

- ・提示種目の定義
  - ① 既存の技でも、新たに考案した技でもよい。
  - ② 大会中に自身が提示した技は1回限りとする。（他者が提示した技は提示可能）
  - ③ 複数の技（同一含む）を組み合わせることはよい。ただし、最大5つとすること。  
また、宇宙一周のよう1つの技と成立されている連続技は、1つとして数える。  
※空中技に限り、全ての技を空中技で構成すること。  
（空中技とはけん玉が手から完全に離れ、その際に玉にけんがささっていないこと）
  - ④ 提示種目者は1分以内、対戦者は3分以内に試技を終えること。
  - ⑤ 提示種目者は事前に種目名を宣告する。また、対戦者ないし審判がわからない場合は技の説明も行うこと。また、対戦者の同意を得れば、模範演技を可能とする。
  - ⑥ 使用けん玉は1試合1本とする。
  - ⑦ けん玉の形状を著しく変化させたり、自分のけん玉でしかできない技は不可とする。  
また、けん玉の形態を変える必要がある技（糸をはずす等）は不可とする。
  - ⑧ 公序良俗に反する技は不可とする（技名も含む）。
  - ⑨ 身体的要素を取り入れた技は、主催者もしくは審判団判断で不可とする場合がある。
- ・最優秀提示種目賞  
提示種目の中で「独創性」や「高難度」など、秀でた技には最優秀提示種目賞を与える。  
条件としては、提示種目者が成功すること。  
ただし、決勝トーナメントに進出できない場合は1種目試技2回の挑戦を可能とする。  
※フリースタイル選手権に限り、決勝トーナメント1回戦の後攻者が3-0による負けとなった場合に限り、その選手はもう1種目挑戦することができる。※合計2種目可能

# 条件付きサドンデス

・上記にも記載した通り、同点で勝敗がつかない場合は、条件付きサドンデスを実施。  
(タイム競技は廃止となります。)

～説明～

- ①該当する別表選技を第1選技から順番に実施する。
- ②別表3の条件を抽選する。
- ③第10選技終了時、勝者が決定していない場合は再度抽選にて条件を決定する。
- ④以降繰り返しで勝者を決定する。

～注意点～

- 2番「片足立ち」については、技の開始から審判の合図があるまで片足であること。
- 3番「2回連続」については、審判の一回目成功の合図確認後手でおろし、二回目を開始すること。

## 選技内容

| 別表1            | 別表2              | 別表3 (条件) | 別表4              |
|----------------|------------------|----------|------------------|
| 1 宇宙一周         | 1 二回転飛行機         | 1 通常通り   | 1 掛け軸返しとめけん      |
| 2 けん先すべり～地球まわし | 2 つるし一回転飛行機～はねけん | 2 片足立ち   | 2 宇宙遊泳           |
| 3 つるしとめけん      | 3 うぐいすの谷渡り       | 3 二回連続   | 3 うずしお灯台         |
| 4 うらふりけん       | 4 つるし一回転灯台～とんぼ返り | 4 椅子に座って | 4 円月殺法           |
| 5 さかおとし        | 5 宇宙一周～地球まわし     |          | 5 つるし一回転飛行機      |
| 6 うぐいす～けん      | 6 ろうそく返し         |          | 6 ろうそく返し         |
| 7 一回転飛行機       | 7 二回転灯台          |          | 7 大皿落としけん※手のせ大皿可 |
| 8 ふりけん～世界一周    | 8 宇宙遊泳           |          | 8 宇宙遊泳返し         |
| 9 はねけん         | 9 すべり止め極意        |          | 9 ろうそくうらふりけん     |
| 10 一回転灯台       | 10 円月殺法          |          | 10 ふりけんつむじ風      |

それぞれの技については「けん玉の技1 2 3」や過去の日本けん玉協会主催大会による競技ルールを参照すること。

タイム競技に関しては、

- ・4種目を各3回ずつ成功させる。技の順序は規定しない。
- ・3回成功する前に他の種目を行った場合、前の種目に限って成功回数を無効(0回)とする。
- ・タイム競技開始前に、審判し最終種目を伝えること。
- ・審判の「かまえ、はじめ」の合図で競技を開始し、先に終了した選手を勝ちとする。

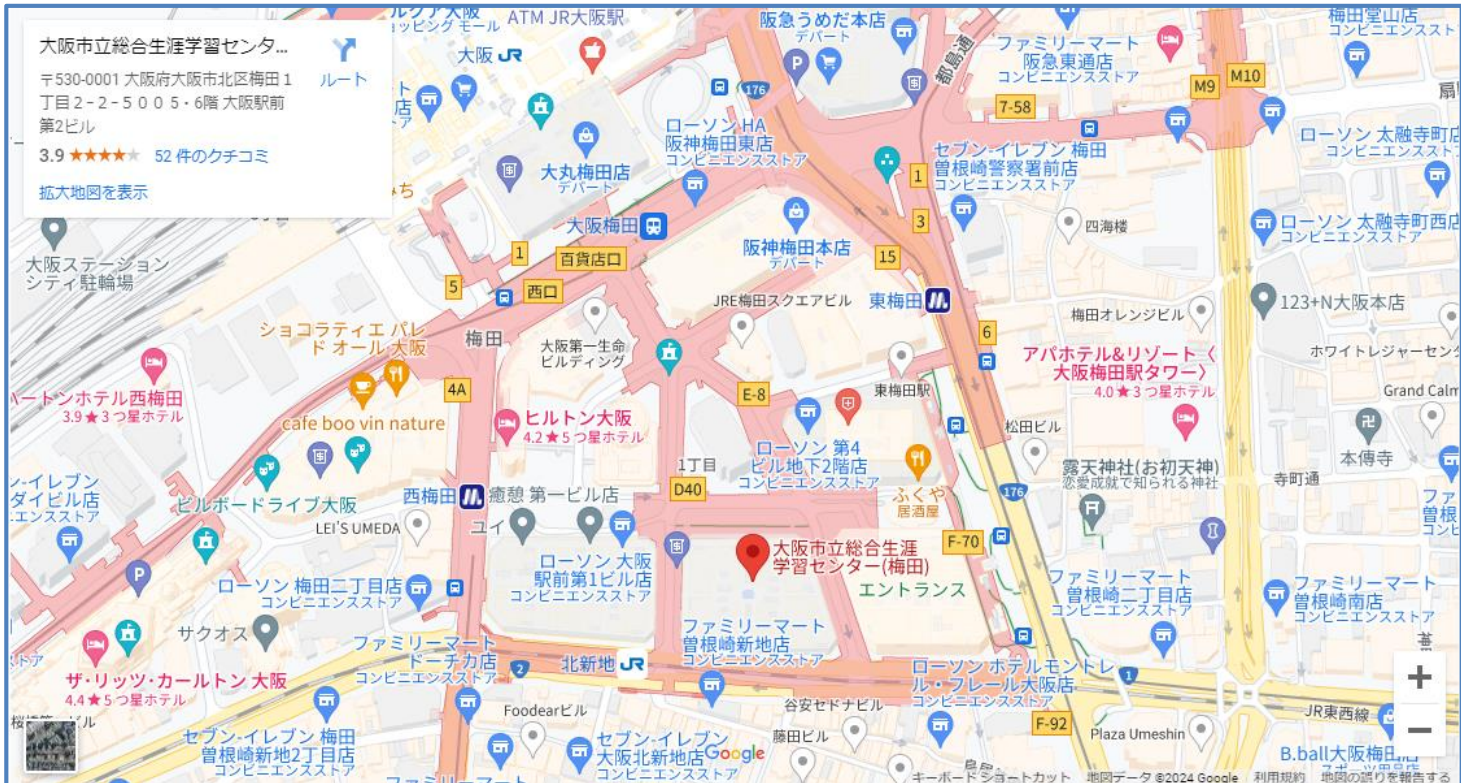
## 使用けん玉

- ・日本けん玉協会認定の競技用けん玉を予選では1本、決勝では1本とすること。
- ・けんの長さは15cm以上、摩耗1cm以下であること。
- ・玉の穴は原形を保持していると認められること。
- ・特殊な加工(切り込み、やすりがけ、着色等)を施していないこと。
- ・糸の長さは自由とする。
- ・その他、主催者の判断により、使用の可否を決定することがある。

# 連絡先

- ・ご不明点等あれば、E-MAIL (t.tsu291@gmail.com) までご連絡ください。
- ・また、公式twitterやfacebookも開設しておりますので、「日本学生けん玉連盟」で検索。

# アクセス



所在地：〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5・6階

## 公共交通機関

【Osaka Metro】御堂筋線・梅田/四つ橋線・西梅田/谷町線・東梅田

【JR】大阪駅/東西線・北新地駅

【私鉄】阪神電車・大阪梅田/阪急電車・大阪梅田